

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立内川中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-1341
石川県金沢市別所町中18

E-mail uchikawa-j@kanazawa-ed.jp
Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/uchikawa-j/

児童生徒数 男子 21名 女子 4名 合計 25名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、『ふるさとに誇りをもつ、心豊かな子どもの育成』を学校教育目標にしている。副題として「幅広い人々との交流や体験を通して、たくましい社会性を育む」としている。学校目標と副題から、ESDはふるさと金沢の良さや課題を知り、課題解決に向けての学習をしていくこと捉え、「自ら学び、考え、課題を解決する力と豊かな人間性の育成」を目標とした。

生徒につけたい力として「主体的に課題を発見・追求する力」「仲間の考えから自らの考えを深める力」「自分の考えを適切にまとめ、伝える力」「コミュニケーション能力」「金沢のまちに愛着と誇りを持ち、よりよい社会の形成に資する資質・能力」の5観点とした。

教育課程上では、総合的な学習の時間を中心に取り組んだ。具体的な取り組みとして①内川の自然を知る学習②金沢の伝統と現在に係わる学習③世界の中の金沢を考える学習の3つの実践を行った。また、④地域との交流を考える活動も行った。

① 内川の自然を知る学習

「内川の自然」を考える上で、内川ダムや環境開発(株)といった地域の施設を訪ねて環境について学んだ。また九萬坊(寺)を訪れ座禅体験も含め、地域の歴史など学び、より深く地域を知ることができ、ひとり一人がプレゼンテーションソフトでまとめ発表した。

② 金沢の伝統と現在に係わる学習

「金沢の伝統と現在」を考える上で、『金沢のものづくり・町づくり』から個人課題を設定し、調べ学習やフィールドワークを通して研究を深め、プレゼンテーションソフトでまとめた。その際、『『これからのもの・町』についてどう考え行動していくべきか』についての意見を交えて発表した。小学生を含む参観者からの質問で当日説明できなかったものは、後日回答を掲示するなどして、自分たちの研究を深めることができた。

③ 世界の中の金沢を考える学習

「世界の中の金沢」を考える上で、『国際都市「金沢」を知る』をテーマに、金沢の姉妹都市について調べ、国際理解教室で交流員と交流を行った。またフィールドワークによる外国人への街頭インタビューや、英語のThis is KANAZAWAによる学習を通して、世界とのつながりや国際都市「金沢」を実感し、プレゼンテーションソフトでまとめ、文化祭で発表することができた。

④ 地域との交流を考える活動

生徒会主催で、地域の特産物のたけのこを使い、生徒会の委員会対抗で『たけのこ合戦（たけのこ創作料理大会）』を行っている。校舎の裏山でたけのこを掘るところから始め、委員会ごとに趣向を凝らした創作料理を作り、コンテスト形式で競い合う。地域の方にも審査に参加していただき、職員も含め、みんなで味わっている。さらに、地域のイベントである「たけのこまつり」やPTA行事の花いっぱい運動、クリーンキャンペーン等に全校で参加することで、内川の豊かな自然を守ることや、地域の方たちと協力することの大切さを学んでいる。



① 内川の自然を知る学習



② 金沢の伝統と現在に係わる学習



③ 世界の中の金沢を考える学習



④ 地域との交流を考える活動

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他(ふるさとに対する気づき)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

参考のホームページ ・環境開発株式会社 ・金沢旅物語「クラフトツーリズム」・加賀竿・和菓子漆・九谷焼・加賀友禪・加賀提灯金沢市景観総合計画 ・金沢の姉妹都市・バッファロー・イルクーツク・ポルトアレグレ・ゼント・ナンシー・蘇州・全州
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

教育課程の位置づけ

どの学年も、主に総合的な学習の時間の中で教育課程に位置付けている。

指導内容及び指導の工夫改善

- ① 学習に対する生徒の意識
- ② 学習に取り組む生徒の意欲や態度
- ③ 学習過程での表現活動
- ④ 学習の成果としてプレゼンテーションソフトを使った発表

上記4点の指導ができているかどうか、常に判断し指導し、工夫改善に活かしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ 職員会議等で毎年の方針について全職員で確認する。
- ・ 生徒が取り組んだ成果物を展示、或いは発表するなど、全校に向けて発信する場を設定することで、生徒同士、職員同士が互いの学習を深く学び合うことができ、共通理解の場（次年度の見通しを持つ場）となっている。
- ・ 文化祭等で発表するなどの発信する機会をつくることで、生徒に相手意識を持たせたり、見通しを持たせたりすることができた。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価アンケート等（生徒アンケート、職員アンケート）で評価項目に位置づけ、評価が低い項目については、担当者が集まって対応を協議し、学校運営協議会とも連携する体制を整えている。

<成果> 内川地区の自然を大切にする気持ちが高まってきた。また、地域住民と交流することで、学校の教育活動を知って頂く機会となっている。

<課題> 主体的・対話的で深い学びにつながる課題設定

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

文化祭で発表したり、総合の発表会を併設している小学校や保護者にも参観を呼びかけたりすることで、学んだ成果を広く発信できた。その中には、内川地区の良さを、地域をはじめとする多くの方々に伝えることに繋がるものもあった。またホームページや学校便り等で発信することで、内川の魅力を伝えることができた。(ホームページを見て、校区外の方が小規模特認校制度を知り、本校に通学する生徒が増えてきた。)

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

内川公民館主催の「内川たけのこまつり」の際は、生徒全員が分担して販売や、催し物の手伝いをしている。その際に、多くの方々から声をかけて頂いている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

現在具体的な交流は行っていない。
市内の発表会を交流の良い機会と思っていたが、今年度は大雪のため、行われなかった。今後、近隣地区の中学校との交流会などを計画し、実践していきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコスクールの活動の中で、地域の施設を訪ねたり、伝統的な物に触れたり、外国人に直接話を聞いたりすることで、生徒達の学習意欲がとても高まっていた。また、自分で課題を見つけ、探究する姿がすべての学年で見られた。

これらの学習を通して、学校目標である『ふるさとに誇りをもつ、心豊かな子ども』に迫ることができた。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

① 内川の自然を知る学習

中学校 1 年生

校区の自然や自然に関わる施設を中心に地域に関して調べ、発表などで発信する。

② 金沢の伝統と現在に係わる学習

中学校 2 年生

金沢に伝わる伝統的なものと、現在の金沢に関わるものを調べ、これからの金沢との関わりを考えて発表を通して発信する。

③ 世界の中の金沢を考える学習

中学校 3 年生

金沢で出会う外国人に直接インタビューしたり、姉妹都市を調べたり国際理解教室での学習を通して、金沢を客観的に見つめ考えたことを、発表を通して発信する。

④ 地域との交流を考える活動

中学校生徒全員

地域の特産物であるたけのこを自ら掘り、グループごとに創作料理を作り、地域の方に審査員をお願いする。地域のイベントや、PTA 主催の活動にも参加していく。